

令和7年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名	呉市
-------	----

種目	発行者	採 択 理 由
国語	三省堂	<p>○第1学年の単元では、防災に関する資料A、資料Bの二つが掲載され、複数の情報を関連付けて考える学習ができる。豪雨災害を経験した本市の生徒にとって自分事として捉えやすく、より情報の扱い方への理解を深めやすい。</p> <p>○第2学年においては、「話す・聞く」との複合単元で、「地域の魅力」について話し合い、書く活動が設定されている。職場体験学習等と関わらせ、主体的な学びを促しやすい。</p> <p>○全学年、全単元で、振り返りのキーワードを使って、自分の言葉で書く活動が設定されている。</p>
書写	東書	<p>○ポイントとなる箇所に、「行書の動きのパターン」にあてはまる筆使いがマークで示されている。第1・2学年の行書の教材において繰り返し示されており、行書の書き方の基本を習得しやすい。</p> <p>○書体について同じページに楷書と行書で書き分けた具体例が掲載されており、書体の使い分けによるイメージを視覚で捉えやすい。</p> <p>○自分の書いた文字を元に話し合う振り返りでは、学んだことを一旦表現し、客観的に観察し合う場の設定ができ、学びを整理しやすい。</p>
社会 (地理的分野)	東書	<p>○単元のまとめに学習内容を確認するコーナーが設けられており、個人活動とグループ活動を組み合わせ、協働的な学びを促すことによって、身に付けた知識・技能をより深く習得させる工夫がある。</p> <p>○「世界の諸地域」の節ごとのまとめに、見方・考え方と資料を結び付けた「資料を活用する力をきたえよう」というページが設けられており、資料を活用した深い学びを促し、思考力・判断力等の育成に効果が期待できる。</p> <p>○各単元において、探究課題の解決に向けて追究していくことが学習課題とともに表に整理されており、生徒の主体的な課題解決を促しやすい。</p>
社会 (歴史的分野)	東書	<p>○1時間の学習課題が設定され、学習課題に対応した2段階の問いが示されている。</p> <p>○節ごとの問いを解決する場面が設定されており、生徒が学んだことを整理しながら、探究課題の解決に向け、思考を深めやすい。</p> <p>○小学校の社会で習った言葉、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表や資料の読み取り及び話し合い活動が示されており、個人活動とグループ活動を往還的に組み合わせ、協働的な学びを促すことによって、より主体的に学習に取り組ませる工夫がある。</p>
社会 (公民的分野)	東書	<p>○学習課題に対応した2段階の振り返りの学習活動が示されている。</p> <p>○個人活動やグループ活動で対話的な学びを促している。</p> <p>○「探究課題」では単元を貫く問い、「探究のステップ」では各節の問いが示されており、学習の見通しが持ちやすい工夫がある。さらに、単元末の振り返りでは、探究課題の解決が単元末のまとめにつながっている。</p>
地図	帝国	<p>○ページ全体に関わる主題を示す「主題学習」のコーナーが設けられており、様々な資料図を多面的・多角的に分析することを促す問いかけがあることから、問題解決の力の育成に効果が期待できる。</p> <p>○中国・四国地方の自然、降水量、交通と人口密度の変化等の資料に加え、農業に関する資料も掲載されており、身近な地域の課題を追究するための資料が豊富に掲載されている。</p> <p>○線状降水帯や南海トラフ等、呉市の生徒に関わりの深い内容が掲載されており、生徒の防災意識を高める効果が期待できる。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
数学	東書	<p>○学習のまとめりごとに必ず身に付けたい問題が取り扱われており、節末と巻末に学習した内容のページが示され、振り返ることができるようにしている。</p> <p>○問題発見・解決の過程における数学的な見方・考え方を働かせる展開があり、導入で多様な表現ができる工夫がある。</p> <p>○問題解決的な学習に対する振り返りの工夫として、振り返りの視点、ポイントが示されており、学習の流れの中に見通しを立てる場面が示されている。</p>
理科	東書	<p>○単元の第1章・実験における問いの設定までの流れとして、漫画形式で生徒同士の会話や関連する実験が示され、課題設定へとつながられている。生徒が感じた疑問から課題設定に至るまでの思考の流れが具体的にイメージしやすい。</p> <p>○各学年の巻頭に「考察はここをおさえよう」で考察のポイントがフローチャートで示されており、生徒が探究の過程全体を振り返りながら結論を導きやすい。</p> <p>○「科学の本だな」のコーナーで複数の書籍が紹介され、学習したことを深めることに役立つ。</p>
音楽 (一般)	教芸	<p>○歌唱分野における知識及び技能に関して、「My Voice!」が設けられ、第1学年には「自分の歌声を見つけよう」、第2・3学年上には「自分の思いを歌声にのせよう」「鼻濁音」、第2・3学年下には「豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう」と全学年にわたって記載されており、発達段階に応じた継続的な指導ができる。</p> <p>○キャラクターの吹き出しで、考える観点や工夫の仕方が示されており、どの生徒にも分かりやすい。</p> <p>○デジタルコンテンツの具体例として二次元コードが掲載されており、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画が掲載されているページや、パート別とカラピアノの音源が掲載されているページ、楽曲に関連する説明とそれぞれの旋律の一部の音源を掲載しているページや、ワークシートがダウンロードできるページにアクセスできる。これらの豊富な資料で、学習が深まるような工夫がある。</p>
音楽 (器楽合奏)	教芸	<p>○内容の構成として、リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八、打楽器、アンサンブル曲、楽器でMelody、資料が掲載されている。その豊富な内容は、楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための技能を確実に習得することにつながる。</p> <p>○リコーダーについて、姿勢と構え方が、口元と指のイラストやアルト・リコーダーを演奏する正面、側面の写真で示されている。また、口元のイラストでは、マウスピースのくわえ方の悪い例が示されており、生徒のつまずきを想定した内容が掲載されている。</p>
美術	光村	<p>○矢印で表現と鑑賞の学習活動のつながりが示されている。また、「表現」と「鑑賞」のアイコンの表記により、相互に関連した学習の流れが示されており、「表現」と「鑑賞」について、相互の関連を図りやすい。</p> <p>○日本の絵画の紹介ページでは、実感を伴う材質感のある用紙を使用しているため、実物に近い感覚で鑑賞でき、生徒の主体的な学習を促すことが期待できる。</p> <p>○鑑賞中心の題材における二次元コードから、作品を拡大したり書き込んだりできる「書き込みツール&amp;高精細画像」等にアクセスでき、鑑賞の視点を豊かにすることが期待できる。</p>
保健体育	東書	<p>○「見つける」として、日常経験や小学校で学習したことを基にした課題が提示され、「学習課題」において、本時の課題が設定されており、生徒が学習内容を自分事として捉えやすく、知識及び技能の習得に効果的である。</p> <p>○事例が挙げられており、生徒が具体的な場面をイメージしながら、学習したことを活用して考えることができ、生徒の思考を促しやすい。</p> <p>○本編と関連させた発展的な内容の資料が主に章末に豊富に掲載されており、学習したことを広げたり深めたりしやすいよう工夫されている。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
技術・家庭 (技術分野)	開隆堂	<p>○各内容において技術の学習を振り返らせたり、技術の学習と社会とのつながりを考えさせたりする項目があり、これまでの学習を具体的に振り返ったり、具体的な制約条件等をもとに技術の見方・考え方について確認したりすることを促す記述や図等が掲載されており、技術の概念の理解を促しやすい。</p> <p>○技術の最適化の具体例が示されており、技術の見方・考え方について、生徒がイメージしやすい。</p> <p>○技術による問題の解決の学習過程の具体例が掲載されるとともに、問題解決の手順を示した見開きページが設けてあり、実習例も同様の手順で示すことで、生徒が問題解決の具体的な流れをイメージしやすい。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	東書	<p>○調理手順が横方向で示されており、調理操作が具体的で分かりやすく、調理の流れや方法を理解しやすい。さらに、魚、肉、野菜の調理には、組み合わせる料理の例が作り方とともに同ページに掲載されており、一食分の献立としてイメージしやすく、調理につなげる工夫がある。</p> <p>○「まとめと発表の仕方」では、レポート、ポスター、新聞形式、プレゼンテーションソフトウェア等の活用方法が示され、次ページからは生徒の作品例が説明や発表例とともに掲載されており、まとめ方のイメージをもたせやすい。</p> <p>○「生活に生かそう」「まとめよう」は節の終わりに設定されており、学習した内容を主体的に実践するための工夫がある。</p>
英語	東書	<p>○複数単元の学習を踏まえ、複数の領域を関連付けた統合的な言語活動が設定されている。また、終末の活動に向けた学習過程において、具体例が示されており、生徒がイメージをもって取り組みやすい。</p> <p>○音声と文字との関係を段階的に学習する活動が設定されており、単語を読んだり、書いたりする基礎的な力を付ける工夫がされている。</p> <p>○学年ごとに領域別学習到達目標が1文で設定されている。また、当該学年の「Stage」ごとに領域別学習到達目標が1文で示されるとともに、振り返りが4段階で設定されている。そのため、生徒が学びのつながりを意識し、一貫した目標をもって学習に取り組むやすい。</p>
道徳	日文	<p>○学習の流れ等が「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の三つで示され、ミニ教材により三つの具体的な学びの見通しをもつことができるように工夫されている。</p> <p>○「学びを深めるヒント」や「視野を広げて」のページを複数設けることで、主体的な学びが期待できる。</p> <p>○いじめの問題をテーマとした二つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめと向き合う」が設けられている。複数の教材とコラムを組み合わせ、一定期間に集中的に学べたり、年間で複数配置をしたりするなど工夫されている。</p>